



飼い主のいない猫を見かけて、単にかわいい、かわいそうなどと優しさだけで餌を与える行為は、排泄物の問題や望まない繁殖による野良猫の増加など、多くのトラブルを引き起こしかねず、猫にとっても幸せなことではありません。

まずは、飼い主のいない猫に関する代表的な二つの活動を紹介します。

### 飼い主のいない猫に関する代表的な二つの活動

#### ◎ T N R 活動

T N Rとは、①猫を捕獲する (T r a p)、②猫に不妊・去勢手術を施す (N e u t e r)、③猫が生活していた地域へ戻す (R e t u r n) という頭文字をとったものです。

T N R活動は、野良猫の数を今以上に増やさず、一代限りの命を全うさせることを目的として、ボランティアや動物愛護団体等により野良猫の不妊・去勢手術を行う継続的な活動であり、将来的に野良猫を減らすための有効な手段の一つといわれています。

#### ◎ 地域猫活動

野良猫であっても動物愛護管理法に規定された保護すべき愛護動物であり、捕獲や殺処分が制限されていますが、その一方で、野良猫によるトラブルが後を絶ちません。

そこで、猫の問題を地域の環境問題としてとらえ、自治会等がボランティアら動物愛護団体等と連携し、地域住民の理解と協力を得て、野良猫の不妊・去勢手術を行うとともに、地域でルールと役割を決めて世話をを行うといった活動が、地域猫活動です。

活動の方法やルール等については、各地域の特性により様々ですが、地域猫活動は、全国的な広がりを見せつつあります。

ここでは、飼い主のいない猫（野良猫、地域猫）に接するうえで求められる最低限必要なルールとマナーを提案しています。

T N R活動や地域猫活動を行う人はもちろん、なんらかの形で飼い主のいない猫に関わる人は、飼い主でなくても責任と自覚を持ち、以下に提案するルールを守りましょう。



## 1 近隣住民等への説明

- ・ 事前に近隣住民や地域等へ活動内容を説明して、理解を得ましょう。
- ・ 近隣住民等の理解を得るには、グループや地域内での役割分担を明確にし、責任の所在を明らかにしておくことも重要です。

## 2 餌場の設置と適正管理

- ・ 近隣住民等の了解を得て、近隣住民等の生活に支障のない場所を決め、その場所以外では餌をやらないようにしましょう。餌は容器などに入れて、一定時間内に食べきれぬ量を与え、食べ終わるのを待ってから容器を回収し、清掃を実施しましょう。

## 3 排泄場所の設置と適正管理

- ・ 近隣住民等の了解を得て、近隣住民等の生活に支障のない場所で、餌場の近くにトイレを確保しましょう。
- ・ ふん等の排泄物は速やかに始末し、常に清潔にするよう心がけましょう。
- ・ 排泄場所付近のごみやふんは積極的に始末し、周辺美化に努めましょう。

## 4 不妊・去勢手術の実施

- ・ どのような猫も繁殖力は旺盛です。世話できる頭数を保持し、今以上頭数が増えないように必ず不妊・去勢手術を実施しましょう。

## 5 耳V字（U字）カットの実施

- ・ 不妊・去勢手術をした猫は、識別処置として耳の先端をV字（U字）カットしましょう。
- ・ 未実施猫との識別が可能になり、手術のために再び捕獲されるのを防ぐほか、地域の中で管理された猫であると認識されやすくなります。

## 6 新しい飼い主探しに努める

- ・ 野良猫は、栄養状態や病気、事故などのため比較的短命であり、寿命の平均は5年以下ともいわれています。
- ・ 飼い主として責任をもって飼養（屋内飼養を推奨）してくれる新たな飼い主を探す努力をしましょう。



## 7 地域猫活動の進め方

地域にいる飼い主のいない猫の問題を地域住民、問題解決に取り組むボランティア、行政の三者が協力し合って解決を目指すことにより、人と猫が共生する地域づくりをしていくという考え方による活動です。

### (1) 地域の合意

地域猫を世話する人が活動に取り組む主体となります。代表者を決め、グループで役割分担しながら活動します。

活動には地域住民の理解が必要であり、自治会等の合意は重要です。一方的に行えば、トラブルの原因になりかねません。

話し合いには、猫が苦手な人や計画に反対の人も含めましょう。

### (2) 活動ルール作成

地域の実態に適したルールを作りましょう。無理なく活動できるように、役割分担、ローテーション、日程を決めましょう。

トラブル等が発生した場合に対処するため、代表者の連絡先を明確にしておきましょう。また、トラブルの内容は記録しておきましょう。

### (3) 餌やり

餌やりの場所は、迷惑がかからないように固定しましょう。

決められた時間に食べ切れる量だけ与え、食後は容器を回収して清掃しましょう。

置き餌は絶対にやめましょう。害虫発生や悪臭の原因になります。

### (4) 排泄の処理

トイレは周辺住民の理解が得られた場所に設置し、常に清潔に保ちましょう。

定期的に巡回を行い、トイレ以外で排泄した場合も速やかに清掃しましょう。

### (5) 不妊・去勢手術の実施

地域猫活動に不妊・去勢手術は不可欠です。性成熟前（生後6ヶ月頃）に行うことが望まれます。手術により行動範囲が狭くなり、発情期の鳴き声やマーキングなども抑えられます。

事前に活動に理解のある動物病院へ協力を依頼しておきましょう。

不妊・去勢手術した猫は、耳の先端をV字（U字）カットするなど、未実施猫と識別する必要があります。



#### (6) 猫の譲渡

地域猫から飼い猫になった例もあります。新しい飼い主へは、その習性、留意事項、適正飼養に関する情報等を提供しましょう。